



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2021.04.01 第12号(1/2)  モンゴルの首都ウランバートル市



みなさん、サイン・バイノー！ CIRのボロルです。今回の多文化紹介記事では私の出身地であるモンゴル国の首都「ウランバートル市(以下、UB市)」について紹介したいと思います。上のモンゴル地図の赤い印があるところは私が生まれ育ったUB市です。

モンゴル国では、1990年以降の市場経済化とともに、首都UB市への人口集中が進み、現在、総人口の約45%が居住しています。モンゴルと聞いたら大草原ばかりをイメージする人が多いと思いますが、UB市は高層ビルが並んでいて、渋滞も多く、にぎやかな大都市です。

UB市は、世界で最も寒い首都とされており、380年以上の歴史があります。1954年に8万人であった人口は149万人(2020年)に増加し、現在はモンゴル文化、遺跡、寺院、野生生物、山岳地帯の自然など様々なものを有する豊かな都市となっています。次のページで、UB市のおすすめ観光スポットを簡単に紹介しますので、今後モンゴルへの旅行をご検討している方は、是非目を通してください。

ウランバートル市のプロフィール

面積：4,704平方キロメートル

(モンゴル国の面積は1,564,100平方キロメートル)

人口：約149万人(2020年)

人口密度：311人/平方キロメートル

標高：1,351メートル

最高気温(2019年)：31.4度

最低気温(2019年)：-32.7度

降雪量(2018年10月～2019年5月)：23.4ミリメートル

降水量(2019年)：291.5ミリメートル

日本との時差：-1時間

日本との距離：成田国際空港より直行便で、5時間





CIRのつぶやき



2021.04.01 第12号(2/2)  モンゴルの首都ウランバートル市



←UB市のシンボル：ガリダ

意味：強さと勇気を意味する伝説の鳥で、黄金の鍵と蓮を持ち悪に打ち勝つ

スフバートル広場



UB市の中心部、様々な政府機関が密集するエリアにある広場です。中央には、広場の名前の由来となるモンゴル革命の英雄と呼ばれるD.スフバートル氏の騎馬像があります。広場の正面奥にあるのは、モンゴルの国会議事堂であり、座っているチンギス・ハーンの銅像も是非見ておきたい所です。周辺には、モンゴル国立オペラ劇場や中央郵便局を含め、観光名所やホテル等も多く立ち並んでいるため、どこへでも行きやすく、観光の拠点としても適しています。

ウランバートル市の観光スポット

ポロルの
おすすめ

ガンダン・テグチェンリン寺



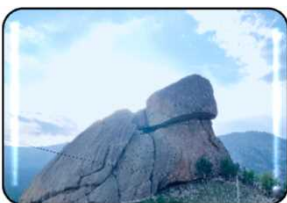
モンゴルにおけるチベット仏教の総本山とも言われている寺で、通称「ガンダン寺」と呼ばれています。敷地内には、マニ車が並んでいたり、高さ25メートルの観音堂があったりして人気の観光スポットでもあります。チベット仏教に興味のある方は一度足を運んでみてください。

ザイサン・トルゴイ展望台



UB市の中心部から少し南に離れた丘の上にあり、約300段ある階段を上ると、首都の街並みを一望できます。展望台の中央に灯台があり、その周りを囲むようにして壁が設置されています。観光客や若者、カップル、物売りたちでにぎわう場所です。

テレルジ国立公園



UB市の北西約75キロのところに位置する国立公園です。山々に囲まれた美しい自然の中で乗馬やハイキング、遊牧民との交流を楽しめます。高さが15mもある、大きな“亀石”は、公園のシンボリックな存在となっており、世界中から多くの観光客が訪れる迫力の観光スポットとなっています。

「フンヌ・モール」ショッピングモールに本物の恐竜！



ブランドショップやスーパーマーケット、フードコートや映画館、ゲームセンターなど、一般的なショッピングモールですが、この一階フロア中央吹き抜け部分には、なんと本物の恐竜化石の全身骨格標本が展示されています。展示されているのは、カモノハシ恐竜で知られる草食恐竜のサウロロフス、首長竜で知られる竜脚類恐竜ティタノサウルス類の仲間オピストコエリカウディア、肉食恐竜ティラノサウルスの仲間タルボサウルスの3体です。いずれも世界有数の恐竜化石の産地であるモンゴルの南ゴビから運ばれたものです。近代的なショッピングモールで買い物しながら、本物の恐竜を鑑賞できるなんて、すごいと思いませんか？